

内政・国際 2003年(平成15年)2月18日(火曜日)

最もシンプルで力強い、21世紀のアート



笑顔のイベント「メリー・イン・
ニューヨーク」を開いている

みずたに こうじ
水谷 孝次さん

「不幸が大きい分だけ、笑顔が美しい。ともに負の遺産を持つ、神戸でやっていたときにもそう感じました。撮っている僕にも、見る側にも、勇気や希望をくれる」

「メリークリスマス」のメリー。楽

ひと

見ているこちらもおおが緩むような笑顔が約四百。9・11テロから一年たったニューヨークで「あなたにとつてメリー(MERRY)とは何ですか?」と問い掛けながら写真を撮った。メッセージとともに展示する「メリー・イン・ニューヨーク」を東京・六本木の「THINK ZONE」で開いている。

「すべては商品を売るためのウソ。こんなことはおかしいとずっと思っていました」

その後、米国を旅するバスの中で、無邪気な少女たちにカメラを向けたのがプロジェクトのきっかけになった。

「笑顔は世界共通のコミュニケーション手段。これこそ最もシンプルで力強い、二十一世紀のアートじゃないかと思うんです」

不況だからこそ「やるべきことがはっきり見える」と笑う。五十一歳。名古屋生まれ。